

## 【表紙】

【提出書類】

訂正報告書

【根拠条文】

法第27条の25第4項

【提出先】

関東財務局長 殿

【氏名又は名称】

クリフォード チャンス法律事務所  
外国法共同事業  
弁護士 山下 淳

【住所又は本店所在地】

東京都港区赤坂2丁目17番7号  
赤坂溜池タワー7階

【報告義務発生日】

該当事項はありません

【提出日】

平成21年12月8日

【提出者及び共同保有者の総数(名)】

3

【提出形態】

該当事項はありません

【変更報告書提出事由】

該当事項はありません

## 【発行会社に関する事項】

発行者の名称	東京エレクトロン株式会社
証券コード	8035
上場・店頭の別	上場
上場証券取引所	東京

## 【提出者に関する事項】

## 1 提出者(大量保有者) / 1

個人・法人の別	法人(米国カリフォルニア法に準拠して設立された法人)
氏名又は名称	キャピタル・リサーチ・アンド・マネージメント・カンパニー (Capital Research and Management Company)
住所又は本店所在地	アメリカ合衆国カリフォルニア州、ロスアンジェルス、サウスホープ・ストリート333 (333 South Hope Street, Los Angeles, CA 90071, U.S.A.)
事務上の連絡先及び担当者名	東京都港区赤坂2丁目17番7号 赤坂溜池タワー7階 クリフォード チャンス法律事務所外国法共同事業 弁護士 山下 淳
電話番号	03-5561-6640(代表) 03-5561-6645(担当者直通)

## 2 提出者(大量保有者) / 2

個人・法人の別	法人(米国カリフォルニア州法に準拠して設立された株式会社)
氏名又は名称	キャピタル・ガーディアン・トラスト・カンパニー (Capital Guardian Trust Company)
住所又は本店所在地	アメリカ合衆国カリフォルニア州、ロスアンジェルス、サウスホープ・ストリート333 (333 South Hope Street, Los Angeles, California, U.S.A.)
事務上の連絡先及び担当者名	東京都港区赤坂2丁目17番7号 赤坂溜池タワー7階 クリフォード チャンス法律事務所外国法共同事業 弁護士 山下 淳
電話番号	03-5561-6640(代表) 03-5561-6645(担当者直通)

## 3 提出者(大量保有者) / 3

個人・法人の別	法人(英国法に準拠して設立された法人)
氏名又は名称	キャピタル・インターナショナル・リミテッド (Capital International Limited)
住所又は本店所在地	英国SW1X 7GG、ロンドン、グロスヴェノー・プレイス40 (40 Grosvenor Place, London SW1X 7GG, England)
事務上の連絡先及び担当者名	東京都港区赤坂2丁目17番7号 赤坂溜池タワー7階 クリフォード チャンス法律事務所外国法共同事業 弁護士 山下 淳
電話番号	03-5561-6640(代表) 03-5561-6645(担当者直通)

## 4 提出者(大量保有者) / 4

個人・法人の別	法人(米国カリフォルニア州法に準拠して設立された法人)
氏名又は名称	キャピタル・インターナショナル・インク (Capital International Inc)
住所又は本店所在地	アメリカ合衆国カリフォルニア州90025、ロスアンジェルス、サンタ・モニカ通り 11100、15階 (11100 Santa Monica Boulevard, 15th Fl., Los Angeles, CA 90025, U.S.A.)

事務上の連絡先及び担当者名	東京都港区赤坂2丁目17番7号 赤坂溜池タワー7階 クリフォード チャンス法律事務所外国法共同事業 弁護士 山下 淳
電話番号	03-5561-6640(代表) 03-5561-6645(担当者直通)

## 5 提出者(大量保有者)/5

個人・法人の別	法人
氏名又は名称	キャピタル・インターナショナル株式会社
住所又は本店所在地	東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 新丸の内ビル33階
事務上の連絡先及び担当者名	東京都港区赤坂2丁目17番7号 赤坂溜池タワー7階 クリフォード チャンス法律事務所外国法共同事業 弁護士 山下 淳
電話番号	03-5561-6640(代表) 03-5561-6645(担当者直通)

## 【訂正事項】

訂正される報告書の 報告義務発生日	平成21年11月30日(報告書提出日平成21年12月7日 変更報告書 No. 3)
訂正内容	上記「変更報告書 No. 3」の取下げを行います。
訂正の理由	「共同保有者の減少」を提出事由として上記変更報告書No. 3を提出いたしました が、この度共同保有者から外れる提出者(共同保有者)4及び5の前回報告書 提出時の株券等保有割合はそれぞれ1%未満であり、当該共同保有者の減少は変更 報告書の提出事由に該当せず(金融商品取引法27条の25第1項、金融商品取引法施 行令第14条の7の2第1項)報告書提出不要であるため、本訂正報告書の提出をもっ て上記変更報告書No. 3を取り下げいたします。